

第4学年 組 国語科指導と評価の案

日時：平成16年 12月3日(金) 公開3  
 場所：北小学校国語教室(北舎1階)  
 授業者：苅安 幸絵(習熟度別少人数 はばたきコース)

1. 単元名 調べたことを報告しよう 「生活を見つめて」～4年 組白書～ (10/15)
2. 本時の目標  
 調査を通して考えたことを、読み手にはっきり伝える報告文を書くためには、調べたこと・方法・分かったことの事柄ごとに段落の中心となる大事な言葉を示すとともに、分かったことと考えたことを区別してメモに書くこととよい事が分かり、調査を通して考えたことがはっきり分かる構成メモを書くことができる。
3. 本時の評価規準 <書くこと>  
 調べたこと・方法・分かったことの事柄ごとに段落の中心となる大事な言葉を示し、調べて分かったことと考えたことを区別して、構成メモを書いている。
4. 本時の展開

「かがやき」と「はばたき」の違い

	学 習 活 動	集 団	子どものつまずきに応じた指導・援助
つかむ	<b>今日の内容</b> 生活を見つめて～4年 組白書～ <b>今日の課題</b> これまでの学習から今日の課題を決める。	全体	前時学んだ組み立てを掲示しておく。 学習の流れを掲示しておく。 これまでの学びの足跡がすぐ参考にできるようにしておく。
	<b>グラフや分かったことメモをもとに、分かったことと考えたことがはっきり伝わる報告文を書くための構成メモを作る。</b>		事柄ごとに分けてメモできない。 → 文の組み立てを確認させる。 → まとまりを示す言葉に着目させる。
ふかめる	<b>自分学び</b> グラフや分かったことメモをもとに、考えたことがはっきり伝わる報告文を書くための構成メモを作る。 なぜ調べようと思ったかの理由を確認する。 組み立て(調べたこと・調べ方・結果)を確認する。 事柄のまとまりを示す接頭語を使って、大事な言葉を短い言葉でメモする。 予想と比べて意外だったことについて分かったことを書く。 アンケート結果から考えたことを書く。 書けたら自己チェックをし、訂正する。	個人	結果に深まりがない。 → 予想と比べてさらに追究して分かったことをまとめさせる。 調査を通して、考えたことがはっきりしない。 → 驚き・発見・気づきは何か・このままでよいか・みんなに呼びかけたいことは何かを尋ねる。 → 言ったことを文章に書かせる。
	<b>学び合い交流会</b> 友達同士、チェック項目を手がかりに表現のよさを見つけ合う。 事柄のまとまりを示す言葉を使って、大事な言葉をメモしている。 予想と比べて追究したことの結果が分かる。 調査を通じて考えたことがはっきりしている。	全体相互	評価の観点に沿っていない。 → 今日の学習の観点を確認させる。 適切なアドバイスができない。 → 評価の観点に沿って相互評価させる。
まとめる	・相互評価をもとに、より分かりやすいメモに直す。 ・「できるようになったこと」「友達から学んだこと」を書き留める。 調べたこと・方法・結果の順に、大事な言葉を短く書けた。 調査を通して考えたことをはっきりさせることができた。 友達の上手なところをまねて書いたら、分かりやすくなった。 アドバイスしたら、書き方を直していた。 ・友達のメモの書き方のよさについて話し合う。 ・発言から、メモの一例を示し、書き方のよさを紹介する。	個人	アドバイスをもとに、何をどう直してよいか分からない。 → アドバイスしてもらったことを確認させる。 → 構成メモ作りのどの部分かを確認させる。
	<b>まとめ</b> 調査を通して言いたいことをはっきり伝える報告文を書くためには、調べたこと・方法・結果の順に、調べたことと自分の考えを区別して、大事な言葉をメモにまとめておくことが大切だ。	全体	自己の高まりを見つめられない。 → 分かったこと・アドバイスをもらって改善できたこと・友達のよさに気付いたことを記入させる。
ふりかえる	<b>ふりかえり</b> 3つの観点(学ぶ意欲・学び方・学び合い)についての自己評価と教師による評価	個人 全体	高まりを認めてもらえない。 → 一斉の場で取り上げ、変容のよさを見つけさせる。 ・メモの変容の面から ・的確なアドバイスの面から

